

みなさんにとってこわいなと思い、恐れているものは何ですか。実際に、アンケートだと地震、ゴキブリ、おばけなどの具体的な意見がありました。私は今まで失敗がこわかったです。失敗すると恥ずかしいし、怒られたり、迷惑をかけたりしそうだと思ったからです。よく母に、失敗しても死ぬわけではないから、楽しくやったほうがいいと言われました。その言葉を何度もかけられるうちに、何かに挑戦して失敗することよりも、挑戦しないで後悔することの方が嫌だなと少しずつ思えるようになりました。けれど、時間がたつとまた失敗が怖くなり、ましになったり、怖くなったりをくり返していました。

また、私はいつもどんなにやりたいことでも人にゆずる性格でした。小学二年生のとき、ある劇に一人だけ出演できるというイベントがありました。私はとても出演したかったけれど、他の人も出演したいと言っているのを聞いて、

「私は出演しなくていいです。」

といつものようにゆずったら、当時の担任の先生が、

「やりたいことはやりたいって言っていいんだよ。」

と言ってくださいました。その言葉を聞いて、このままゆずったら後悔しそうと思い、

「やりたいです。」

と言いました。こう言ったおかげでその劇に出演することができました。担任の先生が言ってくださった言葉は私の性格を変えてくださった言葉になり、人生のターニングポイントにもなりました。

中学校に入学した頃はまだ失敗が怖いと思っていたので、授業で発言して間違えたらどうしようと思い、なかなか発言することができませんでした。また、目立ったらダメで、人と同じように生活しないといけないと勘違いしていました。そのため、自分を出さずに、みんなに合わせて生活していました。しかし、発言して間違えても何かあるわけではないし、ましてや失敗したほうが授業ではやく覚えることができたり、新しい物事の見方を発見したりすることができ、失敗から学ぶことが多かったです。そしてあるとき、ダンスをみんなの前で披露する機会がありました。もともとダンスが好きで、そのときはありのままの自分で踊ることができました。すると、自分も楽しく、みんなからも良かったと言われました。それから、まわりに合わせず、自分を出して生活していたら楽しく、今まで何をしていたのだろうと後悔しました。

テレビやスマホを見ると毎日コロナウイルスのニュースが目に入ってくる時代ですね。私のまわりではかかった人が誰一人いなくて、どこか他人事のように思っていました。しかし、ある日突然私の知り合いがコロナで亡くなりました。とてもショックでした。その人はインドに住んでいたのでなかなか会っていませんでした。たくさん会っておけば良かったと後悔しました。その人は私にとっても、私の家族にとっても大切な人でした。とても明るくて、行動力があって、誰にでも親切な人だったので、誰も亡くなってほしくないけれど、コロナは人を選ばないなと思いました。その人のためになるかは分からないけれど、その人のように明るくポジティブに生きていこうと思いました。

生きていて何が起るかは誰にも分からないし、こんなにコロナウイルスがはやっている時代に生きているので、大げさに言うといつ誰が死ぬのかも分からないと思います。だからこそ、後悔しないように後でいいやと思うのではなく、今を生きようと思わないといけないと思いました。

私はこれらのことから、今生きている時間を無駄にしないことが大切だと思いました。失敗は成功の母とも言うので、失敗をおそれずに、やりたいことをやっていこうと思います。普通の毎日を当たり前だと思わず、感謝して明るく楽しく生きていきたいと思いました。長い人生かもしれないけれど、一度きりの人生だから後悔しないように大切に生きていきたいと思うし、みなさんも大切に生きてほしいと心から思います。どんな人生にするかは自分次第です。